

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ 京都市のインフルエンザの定点あたり報告数は2.30となり、8週連続で減少しました。
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(60歳代男性)あり、本年の累積報告数は6例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(いずれも60歳代男性)(第12週追加報告分1例含む)あり、症状は発熱、全身倦怠感、肺炎、菌血症等です。感染地域は国内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は26例となりました。本疾患の予防にはワクチンの接種が有効です。

京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について(健康安全課ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

- ・ 梅毒(早期顕症)の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は頸部リンパ節腫脹、咽頭炎です。感染地域は国内で、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は23例となりました。重症化や感染の拡大、まん延を防ぐためには早期発見、早期治療が大切です。不安を感じたら検査や受診をしましょう。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

## ◆ 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり報告数は京都市で0.91、全国では2.06となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 3例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 2例  
【1月以降の累積報告数 81例(肺結核 32例, その他結核 18例, 潜在性結核感染者 31例)うち喀痰塗抹陽性 15例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 26例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 23例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

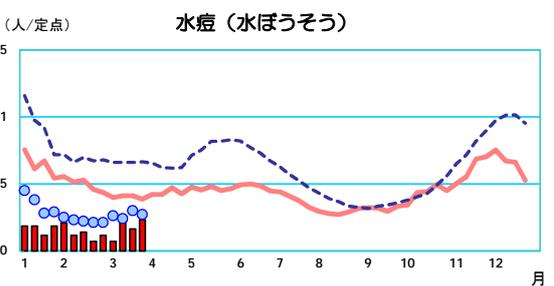
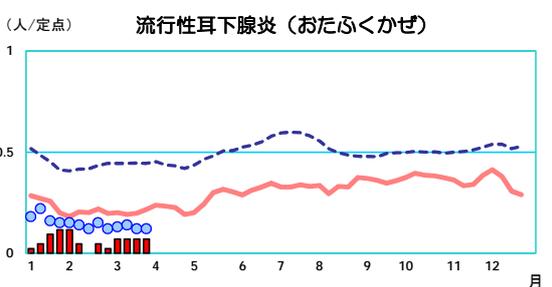
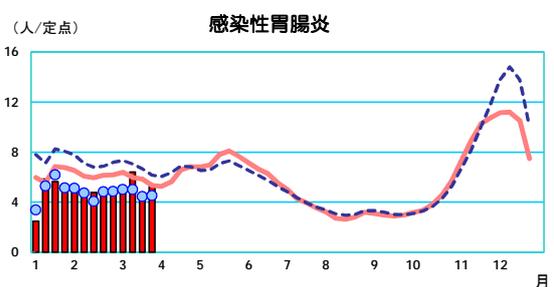
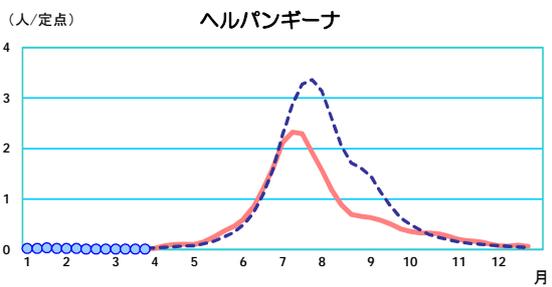
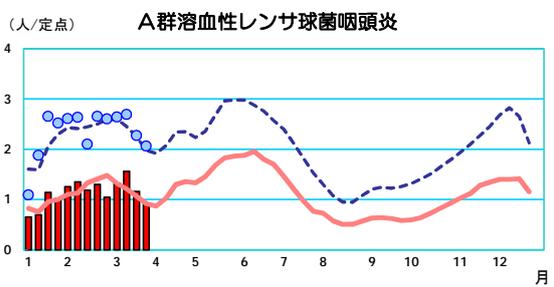
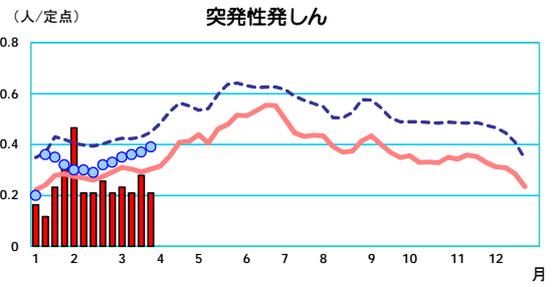
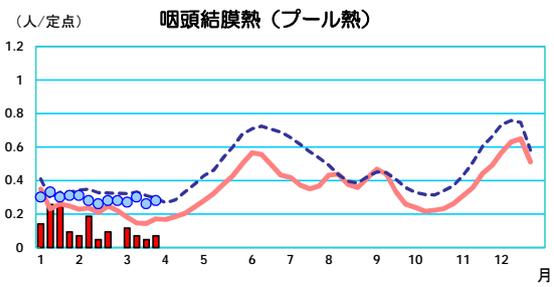
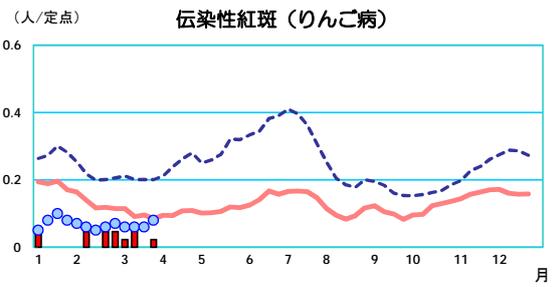
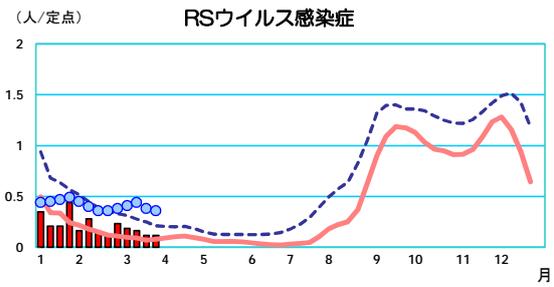
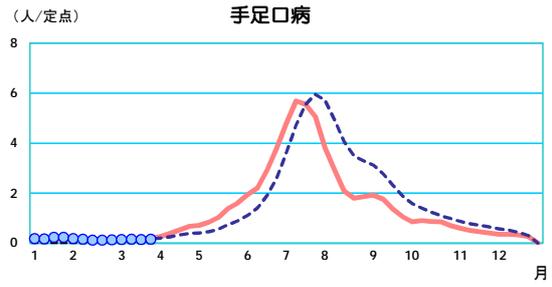
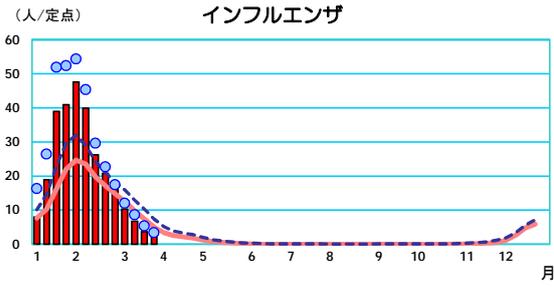
定点	感染症名	定点あたり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	2.30	159
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.23	225
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	39
	③ 水痘	0.23	10
	④ 突発性発しん	0.21	9
	⑤ RSウイルス感染症	0.12	5
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年4月5日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



### 第13週(3月26日～4月1日)トピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

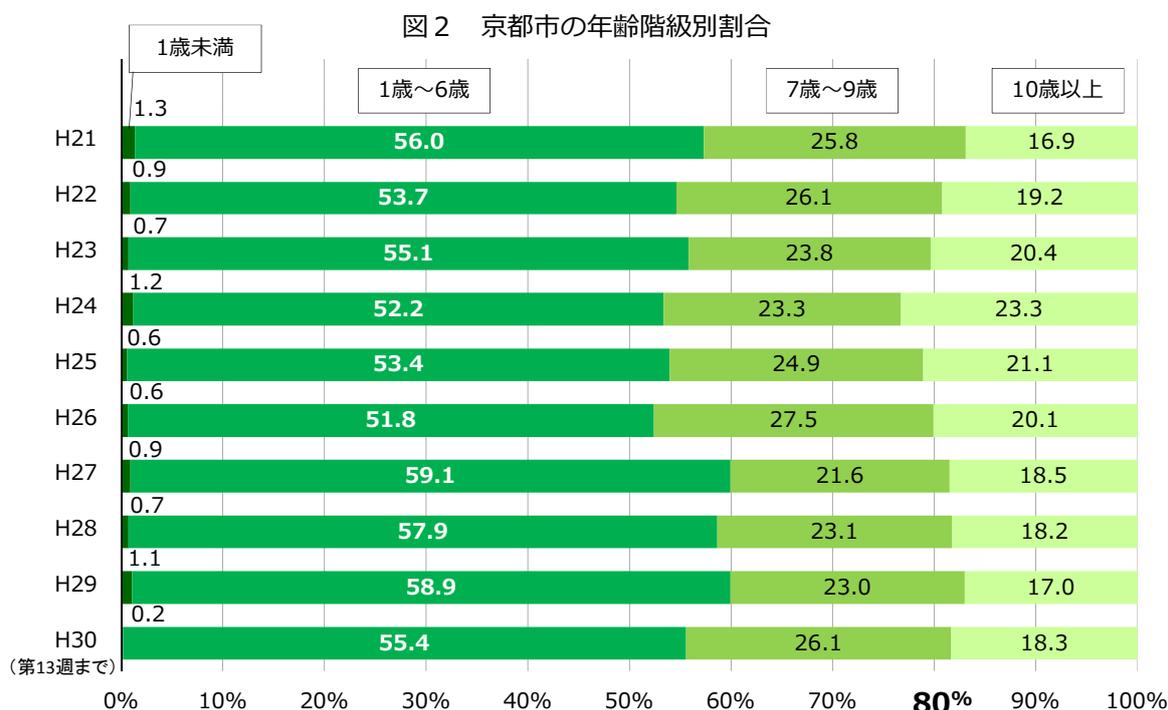
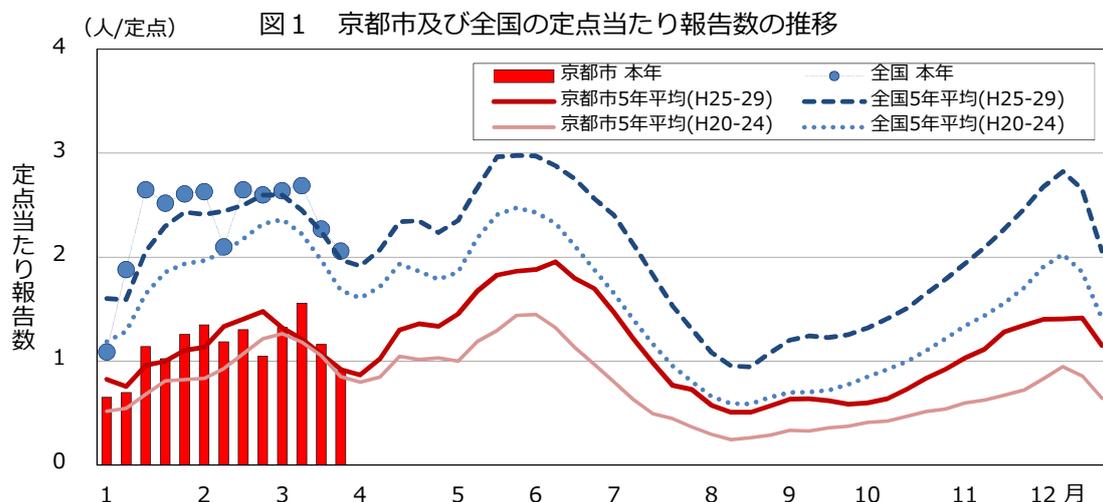
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は京都市で0.91、全国では2.06となりました。京都市及び全国ともに過去5年平均値(平成25～29年)とほぼ同様で、例年並みの状況です。本疾患の長期的な動向を5年ごとの平均値で見ると、平成20～24年に比較して、平成25～29年では、京都市及び全国のどちらも増加傾向が見られます。一方、グラフの形状に大きな変化はなく、例年6月頃と12月頃をピークに流行していることが読み取れます(図1)。

過去の京都市における年齢階級別割合では、1歳未満の報告は少なく、1歳～6歳が5、6割程度(51.8～59.1%)、7歳～9歳が2、3割程度(21.6～27.5%)で、9歳以下で全報告数の約8割(76.7～83.1%)を占め、本年も同様の傾向となっています(図2)。

本疾患の潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。皮膚に赤い発疹や舌にいちご状の発赤(いちご舌)が現れることがあります。患者との接触を介して広がるため、家庭や学童施設等の集団での感染が多くみられます。

治療には抗菌薬が有効で、抗菌薬の種類により5～10日間服用します。服用後2～3日で症状は改善しますが、自己判断で服用を中止するとリウマチ熱や急性糸球体腎炎などの重篤な合併症を生ずるおそれがあるため、処方された薬を飲みきることが重要です。

学校の新学期を迎える時期でもあり、4月から5月にかけては6月の流行に備えて予防を心がけましょう。患者との濃厚接触を避け、うがい、手洗いなどの一般的な衛生が感染に対する予防となります。



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第13週

疾病,行政区別報告数

平成30年3月26日～平成30年4月1日

データ入手日:平成30年4月5日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎(※3)	感 染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	9	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	3						
上京	7	-	-	3	5	-	-	-	1	-	-	-	-						
左京	30	-	-	9	53	-	-	1	-	-	-	-	-						
中京	14	1	1	-	14	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	6	1	-	2	16	-	-	-	1	-	-	-	-						
山科	25	-	-	2	13	2	-	-	3	-	1	-	-						
下京	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
南	22	-	-	4	24	-	-	-	-	-	1	-	-						
右京	13	-	1	3	25	2	-	-	2	-	-	-	-						
伏見	24	2	1	9	52	5	-	-	2	-	1	-	-						
西京	6	-	-	6	22	1	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	159	5	3	39	225	10	1	1	9	2	3	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎(※3)	感 染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	1.29	0.25	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	3.00						
上京	1.40	-	-	1.00	1.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-						
左京	4.29	-	-	2.25	13.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
中京	2.80	0.33	0.33	-	4.67	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.00	0.50	-	1.00	8.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
山科	3.57	-	-	0.40	2.60	0.40	-	-	0.60	-	0.20	-	-						
下京	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-						
南	4.40	-	-	1.33	8.00	-	-	-	-	-	0.33	-	-						
右京	1.63	-	0.20	0.60	5.00	0.40	-	-	0.40	-	-	-	-						
伏見	2.18	0.29	0.14	1.29	7.43	0.71	-	-	0.29	-	0.14	-	-						
西京	0.75	-	-	1.20	4.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	2.30	0.12	0.07	0.91	5.23	0.23	0.02	0.02	0.21	0.05	0.07	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第13週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年3月26日～平成30年4月1日

データ入手日:平成30年4月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	159	1	3	8	9	7	14	8	5	5	5	4	10	14	12	19	15	6	6	3	5	
RSウイルス感染症	年齢3	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		3	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	-	-	-	3	4	4	6	5	1	6	5	3	-	2	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		225	-	14	33	21	21	24	18	22	6	4	4	21	9	28	-	-	-	-	-	-	
水痘		10	-	-	1	-	-	-	3	1	1	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		9	-	3	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		3	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	2.30	0.01	0.04	0.12	0.13	0.10	0.20	0.12	0.07	0.07	0.07	0.06	0.14	0.20	0.17	0.28	0.22	0.09	0.09	0.04	0.07	
RSウイルス感染症	年齢3	0.12	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.07	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.91	-	-	-	0.07	0.09	0.09	0.14	0.12	0.02	0.14	0.12	0.07	-	0.05	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		5.23	-	0.33	0.77	0.49	0.49	0.56	0.42	0.51	0.14	0.09	0.09	0.49	0.21	0.65	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.23	-	-	0.02	-	-	0.07	0.02	0.02	-	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.21	-	0.07	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.10	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第13週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年4月5日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	1,434	1,211	714	469	253	159
RSウイルス感染症	5	10	8	7	5	5
咽頭結膜熱	4	-	5	3	2	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56	45	57	67	50	39
感染性胃腸炎	205	211	207	275	195	225
水痘	3	5	3	10	7	10
手足口病	1	1	1	3	4	1
伝染性紅斑	2	2	1	3	-	1
突発性発しん	11	9	10	9	12	9
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	2
流行性耳下腺炎	2	1	3	3	3	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	3	4	1	3	3
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,726	1,498	1,013	850	534	460

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	20.78	17.55	10.35	6.80	3.67	2.30
RSウイルス感染症	0.12	0.23	0.19	0.16	0.12	0.12
咽頭結膜熱	0.09	-	0.12	0.07	0.05	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.30	1.05	1.33	1.56	1.16	0.91
感染性胃腸炎	4.77	4.91	4.81	6.40	4.53	5.23
水痘	0.07	0.12	0.07	0.23	0.16	0.23
手足口病	0.02	0.02	0.02	0.07	0.09	0.02
伝染性紅斑	0.05	0.05	0.02	0.07	-	0.02
突発性発しん	0.26	0.21	0.23	0.21	0.28	0.21
ヘルパンギーナ	0.02	-	-	-	-	0.05
流行性耳下腺炎	0.05	0.02	0.07	0.07	0.07	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.30	0.40	0.10	0.30	0.30
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	27.73	24.46	17.61	15.73	10.43	9.53

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。